

科目名	真宗学演習Ⅱ					単位	2.0
担当教員	伊東 恵深						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	3	授業番号	3322

●授業のテーマ

『歎異抄』の教えと真宗（2）

●到達目標

『歎異抄』に関する基礎的知識を習得する。また、『歎異抄』の講読を通して、浄土真宗の基本的な思想について学ぶ。

●学習内容(授業概要)

『歎異抄』は、浄土真宗の宗祖・親鸞（1173-1262）の言行録である。『歎異抄』の講読を通して、親鸞によって明らかにされた浄土真宗の教えの綱格を学ぶ。

本講は受講生の発表と討論を主軸とした「演習（ゼミ）」形式で進めていく。受講生には、担当箇所の事前学習、レジュメ（発表資料）の作成、当日の発表、受講生全体での討論（意見交換）が求められる。

また、4年次の卒業論文作成を見据えて、自身の課題を主体的に見出していくことも必要となってくる。

●学習内容(授業計画)

≪後期≫

1. 演習のガイダンス（前期の復習・発表担当の確認）
2. 概説 『歎異抄』異義篇について
3. 受講生の発表① 第十一章
4. 受講生の発表② 第十二章
5. 受講生の発表③ 第十三章
6. 受講生の発表④ 第十四章
7. 受講生の発表⑤ 第十五章
8. 受講生の発表⑥ 第十六章
9. 受講生の発表⑦ 第十七章
10. 受講生の発表⑧ 第十八章
11. 受講生の発表⑨ 後序 1
12. 受講生の発表⑩ 後序 2
13. 受講生の発表⑪ 流罪の記録
14. 『歎異抄』と現代
15. 総括（まとめ・小レポート）

●準備学習・事後学習の内容

「準備学習」…テキスト『歎異抄』を講読して、不明な点があれば事前に調べてくること。特に発表者は、担当箇所を精読して、下調べを行い、レジュメ（発表資料）を必ず作成してくること。

「事後学習」…授業で学んだ内容をよく復習して、そこから自分なりの課題や問題を見つけ出すこと。

●成績評価方法・基準

平常点（出席・発表・発言・受講態度など）80%、期末試験（小レポート）20%

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『歎異抄』、著者名：真宗大谷派、出版社：東本願寺出版部

≪No.2.≫書籍名：『真宗聖典』、著者名：真宗聖典編纂委員会、出版社：東本願寺出版部

●参考文献／その他

授業中に随時紹介する。また必要に応じて、プリントなどを配布する。

●履修上の注意

3年生時の必修科目なので、休まず出席すること。テキストは必ず購入・持参の上、授業に積極的に参加すること。テキスト不携の場合は欠席扱いとする。

前期開講科目「真宗学演習Ⅰ」とセットで受講すること。